

日本財団様より 福祉車両の助成をいただきました

りんりんデイサービスセンターの送迎用の福祉車両を日本財団様より助成いただき、「エブリイ」車椅子用が納入されました。「色とりどりの模様がかわいいね」



「前の車より、乗り心地がいいね！」
との声をいただいている。
大切に使わせていただきます。
ありがとうございました。

ろうきん東海様「NPO寄付システム」より ～ご寄付ありがとうございます～

平成14年より東海労働金庫の「支援NPO団体」になり、毎月たくさんの方からご寄付が寄せられています。令和2年4月から令和3年3月までの寄付合計は、469,000円となりご寄付いただいた人数は、延べ354人でした。今年は“多世代交流事業”の“さをり織り”で使う糸を購入しました。ささやかですが、購入した糸でコースターを織りご寄付の皆様へ送らせていただきました。ありがとうございました。



りんりんデイサービスセンター



選手宣誓



手裏剣シュッシュ



応援もがんばります

NO.88

令和3年(2021) 7月

発行／特定非営利活動法人 りんりん
半田市岩滑高山町5丁目4番地
TEL(0569) 21-3646 FAX(0569) 32-6623
<https://rinrin.or.jp> E-mail npo@rinrin.or.jp

ありがとうございます

皆さまのあたたかいご支援が
りんりんを支えています。

ご寄付ありがとうございます

(株)石川屋 ハウス食品(株) 半田市社会福祉協議会
(敬称略)

令和3年度賛助会員

磯部 敏子	市川 幸夫	市野すなを	川井 淩子
加藤 豊子	河島 理世	木村 静子	小林 叡子
榎原 季子	榎原 初美	榎原 裕子	杉江 義明
鈴木 ちよ	田井謙一郎	寺本由美子	新美恵美子
橋口まり子	福田 悅子	藤松 早苗	藤本 哲史
三輪りな子	村上眞喜子	森 邦弘	山田 康恵

(敬称略)

りんりんのできごと

やなべっこ食堂

4/4	ホットドック・フライドポテト・焼き込みおにぎり お菓子・ジュース配布	42名
5/2	カレーライス・お菓子配布 お助け隊が参加	40名
6/6	カレーライス・カルピス配布	53名
やなべ小町		
4/17	寝巻をリメイク・お手玉作り	13名
5/15	作務衣・お手玉・ねこのブローチ・ベスト作り	12名
6/19	靴下カバー・裁縫ポーチ・財布・眼鏡入れ作り	13名

～ヘルパー研修会～

4月	実施記録の書き方	39名
5月	高次脳機能障害の方への支援について	41名
6月	成年後見制度について	38名

多世代交流事業

	4月	5月	6月
生き活きサロン	19名	17名	16名
さをり織り	30名	34名	46名
絵 手 紙	6名	9名	11名

(R3/6月末現在)

会員数

賛助会員	利用会員	協力会員	合 計
24名	37名	87名	148名

(R3/6月末現在)

特定非営利活動法人 りんりん



新しい半田市へ

令和3年度総会は、会場の人数制限に伴いオンラインとの併用で実施いたしました。協力会員の皆様もスムーズに参加していただけて、1年近くオンラインの研修等を実施してきた成果であったと感謝しております。昨年度はコロナ禍に翻弄された年でしたが、各事業とも大きな変化はありませんでした。とはいえ、多世代交流事業は縮小を余儀なくされ、今後の影響が懸念されますが、周囲の状況をみながら繋げていくことができればと思っています。

この時期、りんりん事務所の車寄せではツバメが巣を作り子育てに専念しています。ところがある日、ヘビに巣を壊されました。中に卵があったのかどうかわからないまま、近くをツバメが旋回していました。毎年、雛が育つのを楽しみにしているので、残念な気持ちでいましたが、数日後、事務所南側2階の軒下に新しい巣が出来上がっていました。ツバメの、困難に負けない行動力に感動し、無事に旅立ってくれるように願っています。



さて、愛知県下に緊急事態宣言が発出されている中、半田市長選があり、12年ぶりの新たなリーダーが誕生しました。若さと行動力を掲げた元市議の久世孝宏市長が、ニューリーダーに選出されました。コロナ禍で経済が滞り、今まで経験したことのない状況にありますが、「やれない理由より、やれる可能性を探す」と訴え続けていた姿に期待しています。誰しも新しいことにチャレンジする時は勢いもありエネルギーも沸いてくるものです。加えて、今までのことを見直し、方向転換するの方がもっとエネルギーが必要と思います。これから、住み慣れた地域で生活を継続するための、持続性のある新しい仕組み作りと一緒に取り組めるようにりんりんも心掛けていきます。

また、前 榎原純夫市長からは、会報を定期的に持参すると、感想やりんりんに対して労いの言葉などのご返事をはがきで頂戴しており改めて感謝申し上げます。

理事長 渡邊 千恵

りんりん総会

5月23日(日) 令和3年度りんりん総会が開催されました。新型コロナ感染症対策の為、オンラインでの総会となりました。会場では、渡邊理事長の挨拶に始まり「地域で活動する団体として地域に根付いた活動を展開してきました。コロナ禍でもNPO法人ならではの事業の継続方法を考えながら活動をしていきます」と話しました。令和2年度の事業報告、令和3年度の事業計画の報告があり、閉会。続いて勤続20年3名、10年3名の方々が表彰され賞状と記念品が贈られました。



総会の様子

以下は、表彰された皆様の感想です。

勤続20年表彰

澤田ゆかりさん (ケアマネジャー)



“十年一昔”といいますが、20年が、あつとう間に過ぎました。いろいろな出来事がありましたが、変化する時代に柔軟に対応しながら、「誰もが安心して暮らせる町づくり」を目指して活動を続けるりんりんで働くことに感謝しています。これからもよろしくお願ひいたします。

島 真美子さん (デイサービス)



NPOって?りんりんって怪しい団体では?と雁宿ホールでの子育て支援のセミナーに参加したのは21年前。それから、多くの利用者さんとの出会いがあり、素晴らしいスタッフの支えがあり、現在まで続けることが出来ました。ありがとうございます。これからも私が出来ることをひとつずつ頑張りたいと思います。

清水奈穂美さん (事務)



20年も働き続けられたこと、本当にあつとう間だったので、私が一番驚いています。勤めて以来、様々なイベントに参加出来て楽しかったです。他の仕事では、きっとこんな経験は出来ないと思います。一番印象に残るのは、“運動会”。皆さんの大爆笑が忘れられません。楽しいイベントをまた企画したいですね。仕事もまだ勉強不足ですので、もうちょっと頑張りたいと思います。

勤続10年表彰

安藤 静香さん (ヘルパー)



りんりんで働き始めて振り返れば。もう10年になると思ったり、まだ10年かなと思ったり…。幼稚園児だった次男が、今、高校生になり、末っ子が生まれて、今年10歳になります。子どもの成長を思い、時が経つことをしみじみと感じます。まだ10年と考えるのは、まだまだ学ぶべきことがたくさんあると思うからで、日々が勉強だと、これからも自分のペースで働いていこうと思います。

廣島 晶江さん (ケアマネジャー)



もう10年になるんだ…と驚いています。未熟な私を同僚たちが10年も支えてくださっていることに感謝の気持ちでいっぱいです。初めは子育ての傍ら、ほんの少しの時間をりんりん茶屋のお手伝いや訪問介護のお仕事をさせてもらっていました。長男、次男が入学、入園したばかりの頃でした。子どもたちが、たまにりんりんに寄るのを楽しみにしていたのを懐かしく思い出します。温かい環境に感謝しつつ、これからも日々精進してまいります。

山下ゆかりさん (ヘルパー)



“いつか家族の介護をするときのために”と軽い気持ちで受けたヘルパー講習。仕事をするつもりはありませんでしたが、講習が終わると、せっかく学んだことを活かしたりました。思い切ってりんりんに電話してから、あつとう間の10年でした。りんりんの皆さんのが支えと利用者さん達の笑顔に励まされてここまで来ることが出来ました。これからも日々学びながら、細く長く続けていきたいと思います。よろしくお願ひいたします。



表彰された皆さん

各部門 担当者より

杉本美奈子

たすけあい

助け合いの心を大切にして、誰もが安心して暮らせるまちづくりのお手伝いを継続していきます。子育て世代の支援、介護保険・障がい支援の制度の中ではできない洗濯や買い物など、経験豊かなヘルパーがお手伝いします。

杉本美奈子

訪問介護

感染予防を第一に新しい介護様式が続いている。オンラインでの研修に取り組み、質の高い支援ができるよう頑張っています。サービス提供責任者の新しい体制づくりや業務の適正・効率化を図って、ICTシステムの導入にも努めています。

澤田ゆかり

居宅介護支援

日常生活に不安を抱えるなか、ご利用者一人ひとりの能力に合った、その人らしい生活ができるように支援していきます。ICTを活用しスムーズな情報連携やデータ活用による質の向上を目指します。

二村ひとみ

障がい支援

しっかりとお話を伺い、ご利用者の障がいの特性を理解し、その方に合った支援を心掛け、安心して頂けるよう努めます。研修等に積極的に参加し、スキルアップを目指しグループ活動も安全に楽しく開催できるようにします。

島 真美子

デイサービス(5時間)

ご利用者一人ひとりに寄り添い、「役割と居場所」を見つけ、安心して過ごしていただきます。外出自粛等による、身体の活動量の減少を機能訓練や体操で補えるようにします。レクリエーションの工夫等チームが一丸となり取り組んでいきます。

宇佐見千寿

デイサービス(4時間)

「自立」と「自律」を柱とし、日常生活動作の維持・向上に努めています。残存能力をできる限り活かし、様々な機能訓練やレクリエーションを通してりんりんでしかできない支援・特色を活かしサービスの提供をさせていただきます。ご利用者の個性を尊重し、知識・技術の向上に努めサービスの質の向上を目指してまいります。

永島喜美子

りんごクラブ(放課後児童クラブ)

長引くコロナ禍、子供たちも検温、手指消毒など率先して協力してくれています。就業前の申し送り、伝達事項の徹底を心掛け、子どもたちが安全に過ごすためにスタッフ一同「異体同心」で、努力してまいります。